

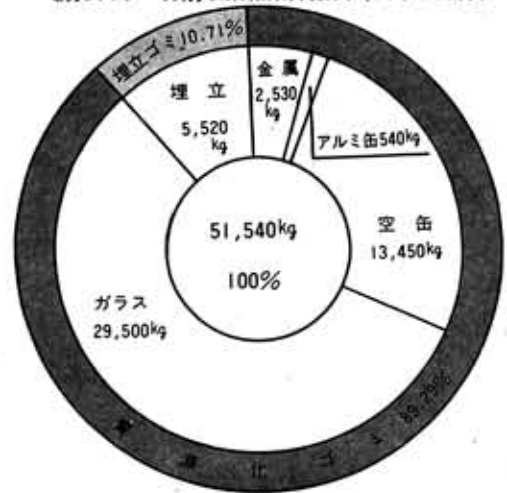
- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
  - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
  - 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
  - 1 すくえた教育と文化を育てましょう
  - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

# 成果あげる分別収集



テキパキと分別して出される不燃物ゴミ(森本町・森本事務所前)

〈別表1〉 分別収集結果分類表(64年2月分)



不燃物ゴミの分別収集が、昨年十二月にスタートして三か月たちました。市民のみなさんのご協力により、この事業も、まちの隅々まで浸透し、大きな成果をあげています。ここで、二月分の分別収集結果をもとにその成果をのぞいてみましょう。

# 埋立ゴミは90パー減

昨年十二月にスタートした燃えないゴミの分別収集の最大の目的は、家庭から出るゴミ、特に埋立てるゴミを減量することです。私たちが、毎日常生活を営むうえで必然的に出てくるゴミ。そのゴミの量は、年々増える一方です。これに対し、ゴミを処理する埋立地は、その性格上最近特に、確保することが難しくなっています。今までのように、家庭から出る燃えないゴミを、全

部埋立てていたのでは、埋立地がいくらあっても足りません。また、本市は、その狭小な市内にゴミ処理場をつくれず、隣接の長岡京市、大山崎町に処理場を依存して、迷惑をかけているのが現状です。このような現状をふまえて、市では、率先してゴミの分別収集を実施し、埋立ゴミを減らして、埋立地の有効的な利用を図るとともに、ゴミの再資源化への第一歩をふみだしたものです。今まで燃えないゴミをひとまとめに出していたのを、六種類に分別して出すことから、スタート当初は、分別の仕方がまだはっ

きりのみこめないで、ステーションの前でとまどわれた方も見受けられました。最近はこの分別収集もすっかり定着したようで、作業もスムーズに行われています。

ここで、先月、全市内の家庭から出た燃えないゴミの分別収集結果(別表一参照)を見てみましょう。総量は、五万一千五百四十キログラム。このうち埋立ゴミは約一〇パーセントの五千五百二十キログラムとなっています。

従来は、この金属類からビン類まですべてを埋立てていたわけで、分別収集の実施により、埋立ゴミは、実に九〇パーセントも激減したことになります。また、埋立てできるゴミの他は、資源化できるもので、私たちが今までになげなく出していた家庭のゴミの中に、こんなにも再利用活用できるものがあつたという事は、資源不足が叫ばれる現代において、驚くべきことです。

## ゴミ減量に一層のご協力を

これらの成果は、市民のみなさん一人ひとりのご協力と、市との連携のたまもので、まちづくりは、市民のみなさんと市との共同作業といふことをはっきりと示しています。今後とも、住みよいまちづくりのため、この事業の主旨を十分ご理解いただき、市民のみなさんのお一層のご協力をお願いいたします。

## 守って下さい

### 月二回の収集日時と場所

分別収集のさいには、次のことにご注意のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

- ▽ゴミステーション付近の方に迷惑をかけないように、決められた日時、場所以外は絶対に出さないでください。収集日は月二回、収集時間は午前八時から九時までの一時間です。別表2で、あなたのステーションを、もう一度お確かめください。
- ▽ゴミを出されるさいには各戸配布の分別収集袋をご利用ください。
- ▽ビン類のふた・栓は必ず取りはずして、一度洗ってから出してください。
- ▽プラスチック類(マヨネーズ、洗剤の容器、おもちゃなど)は、燃えるゴミの日に出してください。
- ▽スプレー缶は危険ですので、必ず穴をあけておいてください。
- ▽燃えるゴミの収集日に、あき缶、あきビンなど燃えないゴミは、絶対に出さないでください。

〈別表2〉 収集日・区域

収集日	収集区域
第1・3月曜日	寺戸町(ステーションNo.32~41)
◇ 火曜日	鶴冠井町全域
◇ 水曜日	寺戸町(ステーションNo.22~31)
◇ 木曜日	物集女町全域
◇ 金曜日	寺戸町(ステーションNo.1~9)
◇ 土曜日	向日台・寺戸町(ステーションNo.63~68)
第2・4月曜日	上植野町全域
◇ 火曜日	寺戸町(ステーションNo.54~62)
◇ 水曜日	森本町全域
◇ 木曜日	寺戸町(ステーションNo.42~53)
◇ 金曜日	寺戸町(ステーションNo.10~21)
◇ 土曜日	向日区・西向日区全域

## 学年末、学期始めの少年非行を防止しましょう

学職別補導件数

	昭和52年	昭和53年
小学生	8件	5件
中学生	64件	120件
高校生	27件	24件
大学生	1件	1件
その他	2件	6件
計	102件	156件
有職	21件	27件
無職	4件	7件
合計	127件	190件

3月から4月にかけての時期は、毎年、少年非行が増加します。この時期は、進学・就職シーズンにあたるために、ふだんに比べて何かと精神的な動揺を受けやすく、ちょっとしたミスも大きな挫折感となって少年たちの心に影を落すので、ここで、向日町警察署で補導した昭和52年と53年の少年非行の状況を、学職別(左表)と罪種別(右表)にまとめました。昨年は、52年に比べ補導件数が大幅に増加しています。この年は全国的にも少年非行が過去10年間で最高となっています。



あなたのご家庭は大丈夫でしょうか。非行のない明るい家庭を築くため、ふだんから子どもの日常生活に細かく目を配ってください。帰宅時間の変化や、成績の動向、友だちとのつき合いに気を配る一方、服装や持ち物が急にハズレになったりしないか、また、親に対する言葉づかいが以前に比べて乱暴になってはいないか、などに十分注意しましょう。日常のちょっとしたところに、非行に結びつく芽があるのです。非行の芽は、早いうちにつみとることが大切です。

罪種別補導件数

	昭和52年	昭和53年
暴行	1件	6件
傷害	3件	18件
恐喝	6件	6件
不法監禁	0件	7件
窃盗	106件	118件
占有離横領	4件	24件
その他	7件	11件
合計	127件	190件